

目 次

1. [総括研究]

訪問系サービスにおけるLIFEの活用に向けた評価指標の開発に資する研究

(赤羽学 研究代表者)

A. 研究目的	1-2
B. 研究方法	1-2
C. 研究結果	1-5
D. 考察	1-6
E. 結論	1-8
F. 健康危険情報	1-9
G. 研究発表	1-9
1. 論文発表	1-9
2. 学会発表	1-9
H. 知的財産権の出願・登録状況	1-9
1. 特許取得	1-9
2. 実用新案登録	1-9
3. その他	1-9

2. [分担研究]

分担1. 訪問系サービスを受ける高齢者の適切なモニタリング指標の検討

～スコーピングレビュー，サービス従事者への質問紙調査・インタビュー調査から～

(保田江美、山口佳小里、柴山志穂美)

A. 研究目的	2-1
B. 研究方法	2-2
C. 研究結果	2-4
D. 考察	2-6
E. 結論	2-8
F. 健康危険情報	2-8
G. 研究発表	2-8
1. 論文発表	2-8
2. 学会発表	2-8
H. 知的財産権の出願・登録状況	2-8

1. 特許取得	2-8
2. 実用新案登録	2-8

分担 2. 訪問系サービスを受ける高齢者の適切なモニタリング指標の検討

～インタビュー調査から～

(柴山志穂美、保田江美、山口佳小里)

A. 研究目的	3-1
B. 研究方法	3-1
C. 研究結果	3-2
D. 考察	3-5
E. 結論	3-6
F. 健康危険情報	3-6
G. 研究発表	3-6
1. 論文発表	3-6
2. 学会発表	3-6
H. 知的財産権の出願・登録状況	3-6
1. 特許取得	3-6
2. 実用新案登録	3-6

分担 3. LIFE 関連加算の地域別算定状況：KDB を活用した地域分析手法の検討

(中西 康裕、山口佳小里、金雪瑩、西岡祐一、次橋幸男、赤羽学)

A. 研究目的	4-2
B. 研究方法	4-2
C. 研究結果	4-3
D. 考察	4-4
E. 結論	4-4
F. 健康危険情報	4-5
G. 研究発表	4-5
1. 論文発表	4-5
2. 学会発表	4-5
H. 知的財産権の出願・登録状況	4-5
1. 特許取得	4-5

2. 実用新案登録	4-5
3. その他	4-5

分担 4. 訪問系サービスにおける科学的介護の推進に向けた指標活用の課題：

従事者を対象とした質問紙調査

(城戸顕、石田由佳子、金雪瑩、赤羽 たけみ、山口佳小里、赤羽学)

A. 研究目的	5-1
B. 研究方法	5-2
C. 研究結果	5-2
D. 考察	5-5
E. 結論	5-6
F. 健康危険情報	5-6
G. 研究発表	5-6
1. 論文発表	5-6
2. 学会発表	5-6
H. 知的財産権の出願・登録状況	5-6
1. 特許取得	5-6
2. 実用新案登録	5-6
3. その他	5-6

分担 5. 訪問系サービスにおける LIFE 導入への期待と課題

ー サービス提供者の自由記述回答に対するテキストマイニング分析 ー

(金雪瑩、山口佳小里、赤羽 たけみ、赤羽学)

A. 研究目的	6-1
B. 研究方法	6-2
C. 研究結果	6-2
D. 考察	6-4
E. 結論	6-5
F. 健康危険情報	6-5
G. 研究発表	6-5
1. 論文発表	6-5
2. 学会発表	6-5

H. 知的財産権の出願・登録状況	6-5
1. 特許取得	6-5
2. 実用新案登録	6-5
3. その他	6-5

分担 6. LIFE データ・データクリーニング

(松本伸哉、西岡祐一、山口佳小里、赤羽学)

A. 研究目的	7-1
B. 研究方法	7-2
C. 研究結果	7-2
D. 考察	7-2
E. 結論	7-3
F. 健康危険情報	7-3
G. 研究発表	7-3
1. 論文発表	7-3
2. 学会発表	7-3
H. 知的財産権の出願・登録状況	7-3
1. 特許取得	7-3
2. 実用新案登録	7-3
3. その他	7-3

分担 7. LIFE データコードブックの作成

(松本伸哉、西岡祐一、山口佳小里、赤羽学)

A. 研究目的	8-1
B. 研究方法	8-2
C. 研究結果	8-2
D. 考察	8-2
E. 結論	8-2
F. 健康危険情報	8-3
G. 研究発表	8-3
1. 論文発表	8-3
2. 学会発表	8-3

H. 知的財産権の出願・登録状況	8-3
1. 特許取得	8-3
2. 実用新案登録	8-3
3. その他	8-3
 3. 研究成果の刊行に関する一覧表	9-1